

2021 臨床実習入門 試験問題 再現

2021. 9. 17 実施

【作成者から注】試験問題が回収されるため、この再現は完全なものとは言えません。中には、作成者が作った選択肢であったり、正答の個数が間違ったりしているかもしれませんがご了承ください。

問 1. 吐血が主訴となるのはどれか。

- a. 萎縮性胃炎
- b. 急性膵炎
- c. 急性胆嚢炎
- d. ダンピング症候群
- e. Mallory-Weiss 症候群

問 2. 嘔吐後に突然発症するのはどれか。

- a. 食道アカラシア
- b. 機能性ディスペプシア
- c. 特発性食道破裂
- d. 食道憩室
- e. 胃食道逆流症

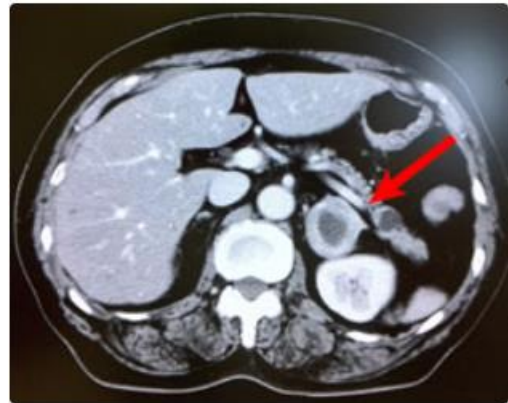
問 3. 体重減少をきたすのはどれか。

- a. 脳梗塞
- b. 脳出血
- c. 狭心症
- d. ネフローゼ症候群
- e. 甲状腺機能亢進症

問 4. 47 歳の女性。突然の頭痛が繰り返し起こることを訴えて来院した。6 か月前から排便時に頭痛と発汗とが出現し、10 分くらいの安静で改善するという発作が数日に 1 回起こるようになった。家族に勧められて、発作時に血圧を測定したところ 206/116mmHg で、発作が治まってから測定すると 116/76mmHg であったという。身長 156cm、体重 48kg。脈拍 96/分、整。血圧 196/110mmHg。顔面は蒼白で、前胸部に発汗がみられる。四肢末端は冷たい。甲状腺の腫脹を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部に異常を認めない。下腿に浮腫を認めない。神経学的所見に異常を認めない。血液生化学所見：空腹時血糖 122mg/dL、尿素窒素 14mg/dL、クレアチニン 0.7mg/dL、Na 141mEq/dl、K 4.0mEq/L、Cl 98mEq/L。造影 CT で腫瘍を認める。

診断に最も有用なのはどれか。

- a. TRH 負荷試験
- b. 尿中カテコラミン測定
- c. デキサメタゾン抑制試験
- d. 血漿アルドステロン測定
- e. 血漿レニン活性〈PRA〉測定



問 5. 腹痛の性状について適切でないものはどれか。

- a. 十二指腸潰瘍 - 夜間の腹痛
- b. 胆石症 - 右肩甲下部に放散痛を伴う
- c. 慢性腸間膜血管閉塞症 - 食後に増強
- d. 過敏性腸症候群 - 排便にて増悪する
- e. 急性膵炎 - 左季肋部～背部にかけての持続痛

問 6、7. 次の文を読み、6、7 の問いに答えよ。

76 歳の女性。頭痛、嘔気および嘔吐を訴え、起き上がれないため搬入された。

現病歴：定時に起床しないため家族が訪室したところ、「つらくて起きられない」と訴えた。

昨夜は通常通り就寝した。

既往歴：30 歳から高血圧の治療を受けている。

生活歴・家族歴：特記すべきことはない。

現 症：意識は清明。身長 150 cm、体重 38 kg。体温 35.7 °C。脈拍 120/分、整。血圧 86/64 mmHg。眼瞼結膜に異常を認めない。顔色は不良で、苦悶顔貌。目を閉じて側臥位をとっている。開眼で嘔気が増強する。前胸部で皮膚ツルゴールが低下し、口腔内は乾燥している。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部はやや膨隆し、臍周囲に圧痛がある。打診では鼓音を認める。

問 6. 初期対応として適切なのはどれか。

- a. 輸液
- b. 輸血
- c. 抗菌薬投与
- d. 利尿薬投与
- e. 消炎鎮痛薬投与

問 7. 初期の検査で適切でないのはどれか。

- a. 心電図
- b. 頭部 MRI
- c. 胸部 X 線検査
- d. 腹部 X 線検査
- e. 上部消化管内視鏡検査

問 8. 浮腫の原因とならないのはどれか。

- a. β 遮断薬
- b. ビタミン B₁ 薬
- c. 卵胞ホルモン薬
- d. カルシウム拮抗薬
- e. 非ステロイド性抗炎症薬

問 9. 圧痕を残さない浮腫の原因となるものはどれか。

- a. 心不全
- b. 塩分過剰摂取
- c. 深部静脈血栓
- d. 甲状腺機能低下症
- e. ネフローゼ症候群

問 10. 発熱を伴わないものはどれか。

- a. 腎膿瘍
- b. 急性腎盂腎炎
- c. 急性膀胱炎
- d. 急性前立腺炎
- e. 急性精巣上体炎

問 11. 発熱患者の診療において誤っているのはどれか。

- a. 海外渡航歴を聴取する
- b. 高齢者は易感染宿主と考える
- c. 糖尿病患者は易感染宿主と考える
- d. 悪寒戦慄のあるときは血液培養を行う
- e. 白血球が減少していれば重篤な感染症を否定できる。

問 12. 51 歳の男性。数日続く高熱と悪寒とを主訴に来院した。2 週前に殿部膿瘍の切開排膿を受けた。体温 39.5℃。呼吸数 22/分。脈拍 90/分、整。指先に有痛性の小結節を認める。呼吸音正常。尿所見：蛋白（－），糖（－），潜血 1＋。血液所見：赤血球 487 万，Hb 15.8g/dl，白血球 12800（好中球 76％）。

診断に重要な身体所見はどれか。

- a. 心雑音
- b. 背部叩打痛
- c. 腸蠕動低下
- d. 肝下縁触知
- e. 切開部硬結

問 13. 黄疸を起こしにくいのはどれか。

- a. 脂肪肝
- b. 肝硬変
- c. 肝癌
- d. 胆管炎
- e. 膵癌

問 14. 閉塞性黄疸患者で尿中に増加するものはどれか。

- a. 蛋白
- b. 糖
- c. ウロビリノーゲン
- d. 抱合型ビリルビン
- e. 非抱合型ビリルビン

問 15. 閉塞性黄疸による症候でないのはどれか。

- a. 皮膚掻痒
- b. 眼球結膜黄染
- c. 腹部膨満
- d. 濃褐色尿
- e. 灰白色便

問 16. 56 歳の男性。5 日前に皮膚の黄染に気づき、徐々に増強したため来院した。尿の色が濃くなり、便の色は薄くなったが、腹痛と発熱とは認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。

まず行う検査はどれか。

- a. 腹部エックス線単純撮影
- b. 静脈性胆道造影
- c. 腹部超音波検査
- d. 上部消化管内視鏡検査
- e. 肝生検

問 17. 意識障害を起こすのはどれか。

- a. 痛風
- b. 糖尿病
- c. 骨粗鬆症
- d. 変形性関節症
- e. 前立腺肥大症

問 18. 意識障害の検査として適切でないのはどれか。

- a. 血中アンモニア
- b. 血中カルシウム
- c. 血中リパーゼ
- d. 血中グルコース
- e. 血中 BUN

問 19. 失神発作を起こしにくいのはどれか。

- a. 起立性低血圧
- b. 大動脈弁狭窄症
- c. 僧帽弁閉鎖不全症
- d. 洞機能不全症候群
- e. 肥大型閉塞性心筋症

問 20. 失神をきたさない疾患はどれか。

- a. もやもや病
- b. 睡眠時無呼吸症候群
- c. Adams-Stokes 症候群
- d. 過換気症候群
- e. 起立性低血圧

問 21、22. 次の文を読み、21、22 の問いに答えよ。

25 歳の男性。意識消失発作を主訴に来院した。

現病歴：受診日の早朝、車を運転中に便意を自覚した。排便しなかったが、我慢をして運転を続けた。ガソリンスタンドに車を止めて、車外に一步踏み出したところで、発汗を認めた。そして頭から血が引いてゆく感じがして気が遠くなり、その場にゆっくりと倒れ込んだ。数秒後に意識は戻り、怪我はなく、歩行することができた。

既往歴：特記すべきことはない。

現 症：身長 170cm、体重 65kg。体温 36.5℃。呼吸数 14/分。脈拍 80/分、整。血圧 100/80mmHg。眼瞼結膜に貧血はない。心音と呼吸音とに異常を認めない。神経学的に異常所見を認めない。

問 21. この患者の診断に最も有用なのはどれか。

- a. 病歴
- b. 身体診察
- c. 血液検査
- d. 胸部 X 線検査
- e. 頭部 CT

問 22. このような発作を起こしにくい状況はどれか。

- a. 咳嗽
- b. 排尿
- c. 嘔吐
- d. 運動
- e. 疼痛

問 23. 40 歳の男性。通勤途中の電車の中で、突然、周囲がグルグル回って見えるようになり、体のバランスが保てなくなった。更に吐き気、耳鳴りおよび耳閉塞感も出現したので、救急車で来院した。今回は 4 回目の発作で意識消失はなし。この患者にみられる身体徴候はどれか。

- a. 発熱
- b. けいれん
- c. 眼振
- d. 咳
- e. 過呼吸

問 24. 繰り返すめまいと難聴を特徴とする疾患はどれか。

- a. 耳硬化症
- b. メニエール病
- c. 前庭神経炎
- d. 騒音性難聴
- e. 良性発作性頭位めまい症

問 25. 次のうち耳鳴りを伴わないのはどれか。

- a. 耳硬化症
- b. 前庭神経炎
- c. 音響外傷
- d. メニエール病
- e. 聴神経腫瘍

問 26. 多尿をきたすのはどれか。

- a. 脂質異常症
- b. 糖尿病
- c. 痛風
- d. 甲状腺機能低下症
- e. 骨粗鬆症

問 27. 咳を伴わないものはどれか。

- a. 胸膜炎
- b. 気管支喘息
- c. 過換気症候群
- d. 慢性副鼻腔炎
- e. うっ血性心不全

問 28. 無尿をきたすのはどれか。

- a. 大腸癌
- b. 膀胱癌
- c. 子宮筋腫
- d. 前立腺肥大症
- e. 両側性尿管結石

問 29. 85 歳の男性。排尿障害を主訴に来院した。10 年前に前立腺癌を患い、1 年前から治療抵抗性を示していた。1 か月前から腹部膨満感および残尿感があり、昨日から症状が強くなったため来院した。意識は清明。身長 165cm、体重 63kg。体温 36.2℃。脈拍 80/分、整。血圧 148/86mmHg。呼吸数 16/分。下腹部に膨隆を認める。尿所見：蛋白（－）、糖（－）、ケトン体（－）、潜血 1＋、沈渣に赤血球 5～9/HPF、白血球 5～9/HPF。血液所見：赤血球 476 万、Hb 13.8g/dL、Ht 39%、白血球 5,200、血小板 24 万。血液生化学所見：尿素窒素 28mg/dL、クレアチニン 4.4mg/dL、Na 137mEq/L、K 5.0mEq/L、Cl 114mEq/L。

まず行うべきなのはどれか。

- a. 血液透析
- b. 腎瘻増設術
- c. 利尿薬投与
- d. 尿管ステント留置
- e. 尿管カテーテル留置

問 30. 62 歳の男性。呼吸困難を主訴に来院した。1 か月前に呼吸困難が出現し、増強してきた。喫煙は 30 本/日を 40 年間、体温 36.4℃、呼吸数 28/分、脈拍 104/分 整、血圧 132/86mmHg、心音に異常を認めない。呼吸時に胸郭の動きに左右差を認める。左胸部の打診は濁音を呈し、聴診では左肺の呼吸音が減弱している。考えられるのはどれか。

- a. 気胸
- b. 肺炎
- c. 肺気腫
- d. 無気肺
- e. 肺塞栓

問 31. 31 歳の女性。帝王切開術の翌日に歩行を始めたとき、突然胸痛と動悸とを訴えた。意識は清明。身長 161cm、体重 75kg。呼吸数 28/分。脈拍 112/分、整。血圧 98/76mmHg。顔面蒼白で苦悶状である。

まず行う検査はどれか。

- a. 呼吸機能検査
- b. 動脈血ガス分析
- c. 腹部超音波検査
- d. 腹部造影 CT
- e. 頭部 MRI

問 32. 感染対策上、空気感染予防策が必要な病原体を 3 つ挙げなさい。

問 33. 不明熱をきたす疾患を 4 つ挙げなさい。

(個人的分析)

過去問と同じような問題ばかりでした。このテストよりも、OSCE で頭がいっぱいになりますが、直前に過去問を見ておけばこのテストは大丈夫かなと思います (落ちたという話は聞いたことがないです)。

追試者 不明 (掲示、再試験の連絡なし)